

広報資料

令和8年6月19日  
京都市青少年科学センター  
(電話：642-1601)

京都ならではの STEAM 教育充実に向けた調査研究検討会議  
「議論のまとめ」について

京都市では、科学技術が加速度的に進展するなど予測困難とされる時代の中、一人一人の多様な幸せ、WELL-BEING の実現を目指し、「知の宝庫」といえる京都のリソースを最大限に生かした「京都ならではの STEAM 教育※」の更なる充実を視野に、その拠点として相応しい科学館の「使命」や「あるべき姿」、「果たすべき機能」、「機能を実現するために必要な環境」等について調査研究を進めてきました。

※STEAM 教育とは

Science (科学)、Technology (技術)、Engineering (工学)、Mathematics (数学) を統合的に学習する「STEM 教育」に加え、芸術、文化、生活、経済、法律、政治、倫理等を含めた広い範囲で「A」を捉え、各教科等での学習を実社会での問題発見・解決に生かしていくための教科等横断的な学びのこと。

その一環として、令和7年度に有識者等18名の委員で構成する検討会議を設置し、多角的な検討を行っていただいたところです。

このたび、同会議の座長である、山極壽一総合地球環境学研究所長より、「議論のまとめ」を、下記のとおり御提出いただきましたので、お知らせいたします。

記

1 提出日時

令和8年6月9日(火)

2 会議の設置趣旨・委員構成等

別紙1のとおり

3 「議論のまとめ」について

京都市教育委員会のホームページに掲載しています。(URL：<https://www.city.kyoto.lg.jp/kyoiku/page/0000355355.html>)

※ 要点をまとめた「議論のまとめ 概要版」は別紙2のとおり

